

LESSON 08

第8回 情報科教育法

# 生成AI授業案を改善する

50分授業として使える形に直す

山梨大学 教育学部 准教授  
稲垣 俊介

# ここまでの流れ

構想、制作、発表、そして改善へ

- ① 第5回 生成AI授業案のラフを作る
- ② 第6回 発表できる形まで整える
- ③ 第7回 発表し、コメントを受ける
- ④ 第8回 コメントをもとに改善版を作る

# 今日の目的

全部を直す日ではなく、大事なところを直す日

- 改善する場所を確認する
- 50分授業として流れを整える
- PowerPointとノート欄を修正する
- 改善版として提出する

# 武藤さん案

宿題・課題と生成AI

## 中心発問

友達に聞くことと、生成AIに聞くことは何が違うのか

## よかった点

高校生に身近な題材で、支援と不正の境界を考えられる

## 改善の重点

活動と提出物を具体化する

# 宮川さん案

## AI回答の正確性

### 中心発問

読みやすい文章は、正しい文章なのか

### よかった点

ハルシネーションを体験的に扱え、人間が確認すべきことを問える

### 改善の重点

場面設定と活動中の支援を具体化する

# 柳さん案

外国語学習と生成AI

## 中心発問

AI翻訳と翻訳機、人間の訳は何が違うのか

## よかった点

題材が具体的で、比較する活動を作りやすい

## 改善の重点

比較対象と教材素材の扱いを明確にする

# 50分授業として成立する条件

スライドを中心に、授業として成立するかの確認

- 中心発問がある
- 具体的な場面がある
- 生徒が判断する場面がある
- 生徒が活動する時間がある
- 生徒が提出するものがある
- 教師が話す時間と、生徒が考える時間のバランスがある

# 50分授業の基本型

必要に応じて変えてよいが、流れは踏まえておく

- 0～5分 導入・中心発問
- 5～15分 場面提示・最初の判断
- 15～30分 活動・比較・検討
- 30～40分 話し合い・考えの更新
- 40～50分 まとめ・提出物記入

# 改善する場所を選ぶ

どのように直すか検討しましょう。

- ① 中心発問
- ② 場面
- ③ ジレンマ
- ④ 生徒の活動
- ⑤ 生徒の提出物
- ⑥ PowerPointのノート欄
- ⑦ 説明の仕方

# ここから自学自習

改善理由を残しながら作業する

- 第7回でもらったコメント
- ノート欄を直す
- 直す場所の検討
- フォームに改善内容を書く
- PowerPointを修正する
- 改善版を提出する

# 提出するもの

改善版と改善理由をセットで出す

- 改善版PowerPoint
- 第8回フォーム

ファイル名例

学籍番号\_氏名\_生成AI授業v2.pptx

フォームには、どこを、なぜ、どう直したかを書く

# 次回への接続

改善は、次の授業づくりにもつながる

次回は、改善版を短く確認する

見ること

- ① どこを直したか
- ② なぜ直したか
- ③ 直して何がよくなったか
- ④ まだ残っている課題は何か